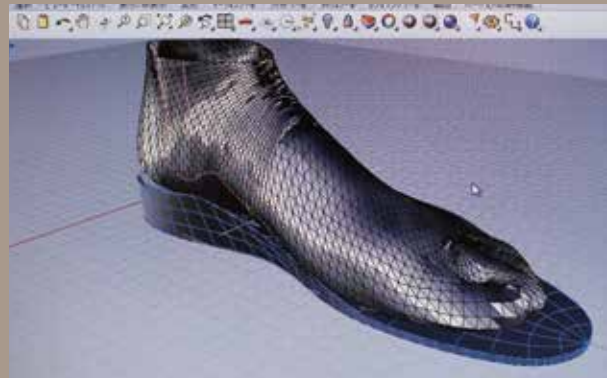


靴型製造で蓄積した実測データと 匠のこだわり設計が息づくインソールの製造・販売



足裏圧力／足型3D計測装置による精密な測定手法と、著名アスリートらのインソールを手掛けた匠のこだわり設計により、足の形状・状態に合わせたオーダーメイドインソールを製作し、B to C市場へ参入する。更に、外反母趾や扁平足など足のトラブルを持つ消費者への一般商品の開発・販売にも注力。「フットヘルスケア」を掲げ、幼少期における足トラブルの防止に向けた保護者も学べる「こども足育」イベントを随時開催していく。

事業の背景



東南アジア製靴の台頭とスポーツ習慣の広がり

神戸市長田区の地場産業である製靴業は、阪神・淡路大震災による製造設備への打撃や、廉価な東南アジア製品の台頭に押され、生産高がピーク時の半分程度に減少した。この間、当社はその製靴を黒子として支える「靴型」製作に50年以上携わってきた。この製靴の生産高漸減の煽りを受け、「このままではじり貧になってしまう」と新事業を模索してい

た矢先、同じく製靴の黒子を担っているインソールの製造に目を付けた。近年の健康志向や2020年のオリンピックを控え、世間ではスポーツ習慣が広がりつつある。靴型のノウハウが活かせるこの潮流を商機と捉え、精密な測定と匠のこだわり設計に拘ったインソールを製造・販売することとした。

事業の内容



精密な測定とこだわり設計のインソール製造

2020年のオリンピック開催決定やスポーツ習慣の広がりから、これまで多様だった消費価値観は緩やかに健康嗜好を内包し始めている。靴製品は、流行のデザイン性に加えフィット性が求められ、これら両方を達成できる「インソール」には根強いニーズがある。一方、量産型のインソールでは、良いフィット感を得ることが難しく、また外反母趾などの足の悩みや歩き方の癖などに上手く対応できるとは限らない。そこで、「片足を15秒で計測可能な足型3D計測装置」、「精密なデータが得られる足裏圧力計測装置」、「各種解析システム」、「インソール切削装置」を導入し、足の特徴に合わせたオーダーメイドインソールの開発・販売に乗り出

した。靴型製造工場に隣接する工房に機器を設置し、ソファ等を置き、一般客でも利用できるようにした。インソール製作は、実際の足形状と足裏圧力を3D計測し、それら画像やデータをCAD/CAMシステムへ取り込みインソールを設計、切削装置で削り出した後、職人が調整し仕上げる。以前はインソール設計の際、毎回発注者の足を職人が手で計測し歩行状況を目視していたが、精密なデータ計測により、発注者本人がいなくても設計が可能となった。更に、新しい靴でも直ぐに本人の足に合わせたインソールを設計することができるようになった。

事業取り組みの成果



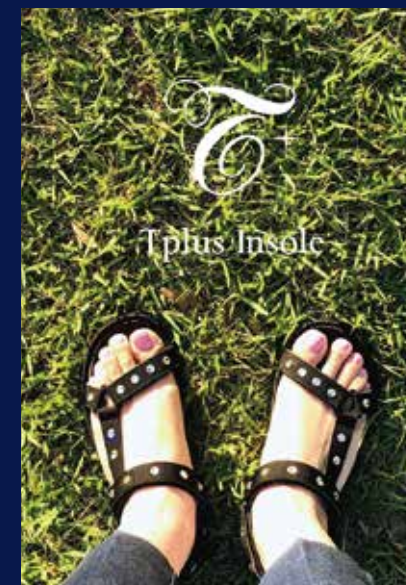
インソールの普及と子ども向けイベント開催

現在、当社のインソールをプロの野球選手やゴルフ選手に提供し、サンプルとして試用してもらっている。また、2019年の運動会シーズン前には保護者も学べる足育イベントとして、神戸市と茨木市で『こどもかけっこ教室』を開催した。現役マラソンランナーである柔道整復師と連携し「好ましい体の動かし方・走り方と、インソール使用による足トラブル防止の重要性」を伝えている。イベントには定員一杯の計40人が参加し、実施後のアンケートは「とても楽しかった」「楽しかった」の回答が合計83%と、好評を博した。足育イベントは、教育委員会を巻き込んで各所で開催する計画である。



【こどもかけっこ教室チラシ】

インソールから始まる次世代商品の開発



【新商品のサンダル】

オーダーメイドインソールはもちろんのこと、当社では次世代商品の開発へも心血を注いでいる。着物用の草履につけて足の負担を和らげるインソールや、い草を用いた夏向けインソールなども考案した。50余年に渡り蓄積されたデータと靴型製作技術を活かし、健康サンダルも発売している。サンダルは体幹を真っ直ぐに保ち、足指を動かしやすい構造となっているだけでなく、デザイン性も重視した。筋力が弱って躓きやすくなった人や、外反母趾等で市販サンダルが合わない人にも適している。これら新商品は、これまでお得意先であった靴製造業者と連携しながら展開していく。



【足形3D計測装置と足裏圧力計測装置】



今後の展開

- オンラインを活用した直接販売体制の構築
- デザイン性に優れ身体の動作を改善するサンダルの販売促進
- 「足育」から始まる健全な身体づくりの推進

有限会社大山

所在地	兵庫県神戸市長田区二番町1丁目28番	E-mail	oyama@oyama-last.co.jp
TEL	078-575-2112	HP	http://www.oyama-last.co.jp
設立	昭和41年4月1日	事業内容	靴型の企画・開発・生産、インソールの製造販売、3DCAD/CAMによる企画・データ管理
代表者	代表取締役 大山 義勝	主要生産設備	伊製3次元靴型計測機、靴型切削機、3DCAD/CAMシステム、インソール切削装置、足圧計測装置、足型3D計測装置
従業員数	14人(令和元年6月現在)		
資本金	800万円		



取締役 社長補佐 大山 智子氏

「足育」で足トラブルのない健全な子育てを支援

近年、子どもたちの成長期における扁平足や外反母趾等に代表される足のトラブルが急増しています。これらは、歩行の機会が減ったこと等を背景に、長期的かつ無自覚のまま進行した「結果」である場合が多く、子どもたち自身では身体の動かし方や走り方を調整・習得することが困難となっています。「足育」によって、子どもたち自身で自分の足に興味を持つよう伝え、健全な成長と将来の可能性を支援していきたいと考えています。